

Two Heart

vol.
69
2025.09

島根県看護連盟広報誌



石田まさひろ参議院議員 当選 !!

INDEX

- 島根県看護連盟会長挨拶 …………… 2
- たかがい恵美子氏との交流会を行って…… 5
- 2025年度 通常総会報告 …………… 2
- 新人研修レポート …………… 6
- 祝！石田まさひろ参議院議員選挙当選 …… 3
- 青年部活動報告 …………… 7
- 2025年度 新任役員・支部長紹介 …… 3
- 研修・行事予定 …………… 8
- 現場からのレポート …………… 4
- 編集後記 …………… 8

R.7.9.1
現在会員数
2,214名
賛助会員数
102名
学生会員数
22名

島根県看護連盟
ホームページ

第27回参議院議員選挙を終えて



島根県看護連盟 会長 松尾英子

日頃より、看護連盟活動にご理解ご支援いただきありがとうございます。
6月28日2025年度島根県看護連盟通常総会を終えました。会長として2年目のスタートにあたり、初年度の成果や課題を踏まえ、新たな視点を取り入れながら、看護連盟組織の発展に、皆様と協力して活動を推進してまいります。

この1年、第50回衆議院議員選挙、松江市議会議員選挙を戦い、そして7月20日第27回参議院議員選挙で石田まさひろ議員3回目の当選を果たすことができました。島根県看護協会・自民党島根県連の議員・事業関係者等の方々のご支援をいただき、石田議員の応援に全力で取り組みました。今回の選挙は、これまでと異なり情報伝達・情報共有にSNSを積極的に活用しました。連盟会員の70%以上が、インターネットやスマートフォンが普及した環境で育ったZ世代・Y世代の方です。テレビよりSNSを通じて情報を得ることが多いといわれる世代の皆さんを中心に選挙戦における効果的なSNS活用が、勝利の鍵となるといわれます。候補者の活動人柄等を多くの方に知っていただくため、コンプライアンスを遵守しつつ情報の拡散を行いました。当選が確定したのは翌21日の11時頃であり、厳しい戦いを裏付けるように獲得票が伸びないことにもどかしい思いで結果を待ちました。当選の一報に喜びと同時に選挙の難しさを痛感しました。

2025年問題、2040年問題に向け看護・介護を必要とする高齢者の方が増える一方で、人口減少、現役世代の急減という喫緊の課題が山積みです。これまで石田議員が推進してきた看護職の処遇改善、診療報酬の算定要件の緩和、医療DXによる看護業務改革、人材確保等の政策の実現に向け、さらに前進していただけることを期待しています。

2025年度 島根県看護連盟通常総会 報告

6月28日(土)、ビックハート出雲において2025年度島根県看護連盟通常総会を開催した。136名の参加(委任状合わせて1,890名)があった。天野和子島根県看護協会副会長、高見康裕衆議院議員、高階恵美子衆議院前議員、細田重雄自民党県連顧問、青木薫子参議院議員青木一彦秘書、青木誠日本精神科看護協会島根県支部長のご出席並びにご祝辞を頂いた。提出議題は、審議事項 第1号議案 2025年度スローガン(案)、第2



号議案 2025年度事業計画(案)、第3号議案 2025年度収支予算(案)、第4号議案 2025年度選挙対策(案)、第5号議案 2025年度改選役員の選出(案)について審議され、すべて原案通り承認された。総会開催に合わせ、高見康裕衆議院議員に「特別講演」を頂いた。医療・介護・福祉の報酬改定が物価高騰に追いついていないこと、物価高騰が県民の生活を逼迫させていること、米を始めとした市民の生活に直結する物価を抑えるための農林水産の取り組みなど、国政と地域での活動について話された。講演終了後、質疑応答・意見交換が行われ、現場の声を届ける場となった。

祝 当選おめでとうございます。 石田まさひろ参議院議員 3期目 当選!!



7月20日に行われた第27回参議院議員選挙で看護職の代表である石田まさひろ議員が再選されました。大変喜ばしく、今後の更なるご活躍に期待いたします。



2025年度 新任役員&新任支部長 ごあいさつ

副会長 安達良子



現在、島根県看護協会の専務理事としての役割を担っています。この度、6月28日、2025年度島根県看護連盟通常総会において、看護連盟副会長を拝命しました。看護職を取り巻く課題は生産年齢減少に伴う人員不足や夜勤に係る勤務環境改善等、山積です。看護現場の声を政策実現に向けて届ける橋渡しが出来ればと考えています。これまでの連盟支部活動の経験を活かし、微力ではありますが、努めて参りたいと思います。

幹事 曾田美佐子



去る6月28日島根県看護連盟通常総会において、幹事を拝命しました。9年間の支部長経験から、新人研修やリーダー研修、支部合同研修など様々な研修や施設訪問を通じて、「現場の声」は政治を動かす大切な言動力であることを改めて痛感しました。看護の代表を国政に送り出すことの必要性を周知し、会員同士の顔の見える活動を大切にしていきたいと思います。そのために一人でも多くの連盟会員の入会を目指し、精一杯連盟活動に尽力してまいります。

幹事・青年部支部長 生土博之



島根県看護連盟青年部支部長として、仲間との「つながり」を何より大切にしながら活動していきたいと思います。日々、現場で悩み、笑い、時に迷いながらも懸命に働く若手看護職が、「自分はひとりじゃない」と感じられるような場をつくりたい。そして、仕事や看護への思いを語り合える仲間がいることで、明日もがんばろうと思えるような、そんな温かくて前向きな青年部を目指します。みんなで一緒に島根の看護の未来を育てていきましょう！

松江第2支部長 池田貴美江



今年度より島根県看護連盟松江第2支部長を務めることになりました。支部長という役割に、身の引き締まる思いです。私は長年勤めた松江市立病院を昨年退職しました。今までの臨床経験を活かし、現役の方と連携し働きやすい職場づくり、やりがいのある看護の実現に向けて尽力していきたいと考えています。未熟で学ぶことばかりですが、皆様と連携し、情報交換しながら活動していきたいです。

「看護師等の確保を促進するための措置に 関する基本的な指針」改定を受けて



～看護師の就業環境を整える～

出雲徳洲会病院 布野 文代



「看護師等の確保を促進するための措置に関する基本的な指針」が平成4年12月に制定され、31年ぶりとなる令和5年10月に改定された。看護師等を巡る状況が大きく変化したことや、少子高齢化の進行に伴って現役世代が急減する中で、看護ニーズの増大が見込まれており、看護師等の確保の推進が重要であることから改定された。

看護師の確保および離職防止は、どの職場でも継続して取り組む必要のある事項である。その中で処遇改善の一つとして、当院では夜勤手当が増額された。育児短時間制度を活用し、育児と仕事の両立が図れるよう配慮する一方で、夜勤を担う職員への手当の増額は夜勤者への配慮につながる。また、夜勤等の業務負担の軽減とICT化の積極的な推進として、バイタル自動入力機器を今年度導入する予定である。タスク・シフト/シェアの観点からは、臨床検査技師による静脈路の確保を進めている。事例としてはそう多くない件数だが、多職種協働で看護師等の就業環境の改善に取り組んでいる。

看護師の資質の向上の観点からは、リソースナースの育成を進めることが必要である。研修受講においては、受講期間中も給与補償など全面的にバックアップする体制があり、安心して学習できる環境を提供している。現在当院には特定行為研修修了者が在籍しておらず、その育成も進めていきたい。

その他看護師等の確保の促進に関する重要事項として、看護補助者が担っていく環境の整備があげられる。当院は介護福祉士資格を有する看護補助者が多く在籍しているが、その資格を活かした業務手順を整えていない。国家資格を有する職員としてのモチベーションアップのためにも、介護業務の積極的委譲に取り組む必要がある。

看護ニーズの増大に応えられるよう、今後も、就業環境の改善に向け様々な取り組みを継続していく。

看護連盟会員 募集中

- ❖看護連盟は看護の現場をよくするために活動しています。
- ❖会員一人ひとりが看護連盟の力となります。
- ❖多くの方の入会をお待ちしています。

正会員・特別会員

年会費 9,000円

(内訳) 日本看護連盟会費 5,000円
島根県看護連盟会費 4,000円

*特別会員：正会員の経験を有し未就業で現在、看護協会員でない方

賛助会員

年会費 1,000円

看護連盟の主旨に賛同していただける人であればなんとでも入会できます

学生会員

会費 無料

就学している看護学生の方



お問い合わせ 島根県看護連盟 電話：0852-27-6361 E-mail：shima-kangoren@Vesta.ocn.ne.jp

たかがい恵美子氏との交流会を行って



マザリー産科婦人科医院 渋川 あゆみ

5月9日（金）に、たかがい恵美子衆議院前議員 の訪問を受け意見交換の機会をいただきました。

はじめに、たかがい衆議院前議員より、中絶薬（メフィーゴパック）について、取り扱いゼロの県があり、島根もそうであると問われ、県内で普及しない理由について当院院長から、都会と比べ島根では使用時のデメリットの方が大きいため県内では取り扱う施設は今のところなく、今後普及するのは難しいのではないかと説明^{※1}しました。

続いて県内の周産期医療における産婦人科医師の現状と課題、助産師の現状と課題について情報提供をしました。

県内の産婦人科医師は、現役医師の高齢化と若手医師不足のため、退職した医師の支援により何とか現状は維持されているが、この先、医師が増える見込みはなく、激務や不安でかなり疲弊してきていること。

医師の負担軽減には、助産師が専門性を発揮し、助産師外来・院内助産に取り組むこと（タスクシフト）が期待されているが、それを担う助産師育成に働く場の課題がある。分娩数の減少により、県内の産科病棟はすべて混合病棟にせざるを得ない状況である。看護協会では、助産師外来・院内助産の推進、混合病棟での「母子のための地域包括ケア病棟」の推進に取り組んでいるが、看護師不足が追い打ちをかけ、助産師が他科異動したり、新卒でも他科採用となったりしているため、助産師としての自律が遅れている。助産師の働く場において専門性を発揮できる体制にすること、県全体で助産師育成体制を整備することが喫緊の課題である。

少子化は加速しており、自ずと分娩取り扱い施設は減っていくと思うが、それをつただけでは、妊産褥婦と新生児とその家族への安全・安心・満足したケア提供体制は望めないため、県全体で、産婦人科医師の負担軽減と助産師育成を考慮した分娩の場の集約についての検討が急がれることなど意見交換しました。



※1：7月までに1施設で2例の使用の報告あり



～ 新人研修に参加して ～



益田赤十字病院 古田 理紗子

研修を通して、看護協会と看護連盟が協働し、看護職の地位向上や職場環境の改善に取り組んでいることを学びました。入職して新たなことに挑戦する日々の中で、私たちが働きやすい環境が整っている背景には、こうした団体の活動があると実感しました。また、今後さらに高齢化が進み高齢者を支える者が減っていく社会で、私たち看護職は一人一人が重要な役割を担う存在です。

そのため、まずは自らが看護職能団体の一員であるという自覚を持ち、現実と向き合い、政治に参加するところから始めていきたいと思いました。



済生会江津総合病院 小林 渚

この度の研修を通して、主に看護協会は現場での「人手が足りない」「業務が過剰」「患者さんにもっと寄り添いたいのにな時間がない」といった現場での声や必要な制度改善をまとめ、看護連盟に提言する役割があること、連盟はそれを政治に届けることで看護師の働きやすさや専門性向上につなげる役割があることを知ることができました。

「選挙離れしている場合ではない」という言葉が特に印象に残り、政治にもっと興味・関心を持ち、立候補者の政策に目を向けて、投票することの大切さを学ぶことができました。



松江市立病院 竹下 琴乃

今回の研修では、看護協会や看護連盟の活動内容について学び、看護師の働く環境や機能の向上のために多方面で支援が行われていることを知りました。日々の臨床だけでなく、制度や政策の面からも看護が支えられていることに気づき私もその一員として貢献することが出来たらいいと感じました。また青年部という私のように若手看護師に向けた活動もされていることを知り、若手の方々が意見を出し合い活動していることに刺激を受け私も更に学びを深めていきたいと思いました。



島根大学医学部附属病院 原 優花

研修を通して看護協会と看護連盟は互いに「2040年に予測される少子高齢化やそれに伴う医療の逼迫」を課題とし相互的に活動されていると学びました。看護協会では「看護の質の向上」、「働き続けられる環境づくり」、「看護領域の開発、展開」を、そして看護連盟ではそれらの理想を現実にするために政治の場で発信する等、各々の役割があることを実感しました。また、私自身も職能団体の一員として臨床での学びを医療者同士で発信し合い、更に医療者以外の方にも看護のおもしろさを伝えていきたいと強く感じました。



島根県立中央病院 石田 希望

本研修で、看護連盟の役割やそれらが自分達にどう関わっているかを理解することができました。今後、人口減少に伴い医療従事者の不足が予測されます。その中で、どう看護の質を維持するかを考えた際、現場で生じている看護の問題や労働環境・処遇改善の声を発信していく必要があると感じました。また、自らができる身近な事として、看護に関する新しい情報を積極的に得ることや、その情報を職場内で話し合うことが大事だと思いました。また、選挙など自分達の為に与えられた機会を無駄にしないようにしたいと思います。

青年層が担う連盟活動の重要性



青年部支部 幹事 山田 洋一

私は青年部として活動を始めて6年目になりました。今年度から島根県青年部は支部化され、新たなスタートを切っています。支部化するにあたり、その意義については議論を重ねました。日本看護連盟から示された青年部ビジョンにもある通り、青年層に対する活動への期待も感じています。

そんな中で、6月6日の日本看護連盟通常総会に代議員として参加しました。全体で1,057名の参加者があり、改めて組織の大きさを感じました。ただ、会員減の傾向が問題視されており、その組織力をいかに発揮していくかを課題として再認識しました。石田まさひろ先生を応援するために赤一色に染まった会場を見て、圧巻の光景でした。

6月7日は、青年部代表者ミーティング、全国ポリナビが開催されました。代表者ミーティングでは、各県の青年部と日頃の活動について共有しました。私のグループでは、東京を始め、栃木県、長崎県などの青年部が4名いて、県ごとの会員数の違い、青年部メンバーの意識の違いを感じました。東京では、青年部での活動への参加は立候補だと聞き驚きましたが、主体性があり、うらやましくも思いました。島根県では青年部役員は各施設から選出されるため様子がわかるまでは主体的に動きません。しかし、学生へのアプローチを含めた島根県青年部の活動は、他県より活発に行っているように感じました。



同じ志で活動している中四国ブロックの青年部

午後からのポリナビでは、自県の活動をショート動画で紹介、優秀な作品を選ぶという企画でした。SNS時代の中で、ツールの活用を意識できる企画である一方、作品の選定にはドント方式が使われていて、選挙の仕組みが学べるようになっており、自県の研修でも活用できる内容になっていました。

3年後には、参議院選挙が、それまでに衆議院選挙がある可能性もあることを考えると、選挙が終わった今だからこそ、振り返り、課題解決に動いておかないといけないと感じています。その旗振りが、青年部で行っているよう、引き続き活動に熱を入れていかないといけないと思っています。



島根県看護連盟青年部のX(旧Twitter)&インスタグラムの公式アカウント!



島根県看護連盟青年部



島根県看護連盟青年部



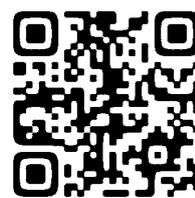
@SHIMASEINEN

青年部から発信します。ぜひ、ご覧ください。

日本看護連盟

「現場の声をお聞かせください」
常設アンケート!!

▼アンケートはこちら▼



みなさまの「現場の声」をお聞かせください

Information to Heart 【研修・行事予定】

月	日	曜日	行 事	場 所	講 師 他
10	11	土	ポリナビワークショップ in 島根	パルメイト出雲	日本看護連盟幹事 遠藤 圭介 氏
10	25	土	看護協会・看護連盟合同研修会	島根県看護研修センター	島根県健康福祉部 課長 藤坂 和宏 氏
11	29	土	中国・四国ブロック看護管理者・看護教育者看護政策セミナー	ビッグハート出雲	参議院議員 石田 まさひろ 氏 他3名

編集後記

澄み渡る空気に赤や黄に染まる秋の風景は、酷暑が続いた夏の疲れを癒してくれます。紅葉スポットを回り、落ち葉を踏む音や金木犀の香りに立ち止まり、感傷に浸ってみたいものです。〈広報委員〉



東洋羽毛

睡眠セミナー無料サービスのご案内

よく眠った人には、かなわない。

睡眠セミナー講師を無料で派遣いたします

東洋羽毛では、「睡眠健康指導士」の資格を有した社員が講師を務める充実したセミナーをご用意しています。正しい情報を得て睡眠習慣を見直し、イキイキと健康的な毎日を歩むお手伝いをさせていただければ幸いです。

*オンラインセミナーの開催も承ります。

《お役に立てる主な研修》

- 医療安全対策研修 睡眠不足とヒューマンエラーの関係や、交代制勤務における睡眠のコツなど
- 学校保健委員会 「学力」や「部活動」、「スマホ・ゲーム」と睡眠の関係
- 高齢者の睡眠ケア 高齢者の睡眠マネジメントやこれだけは知ってほしい生活習慣

*他、施設内研修などご相談承ります（事前にお打ち合わせにお伺いする事も可能です）

睡眠セミナー講師は状況に応じて感染予防対策を実施しています。

◆セミナーに関しましては、二次元コードよりお問い合わせください。担当よりご連絡させていただきます。
<https://www.toyoumo.co.jp/seminar>



東洋羽毛中四国販売株式会社
〒690-0055 島根県松江市津田町316-2

島根営業所

0120-996-104

発行：島根県看護連盟
発行責任者：会長 松尾 英子

〒690-0049 島根県松江市袖師町7-11 看護研修センター内
TEL(0852) 27-6361 FAX(0852) 27-6417
E-mail: shima-kangoren@vesta.ocn.ne.jp